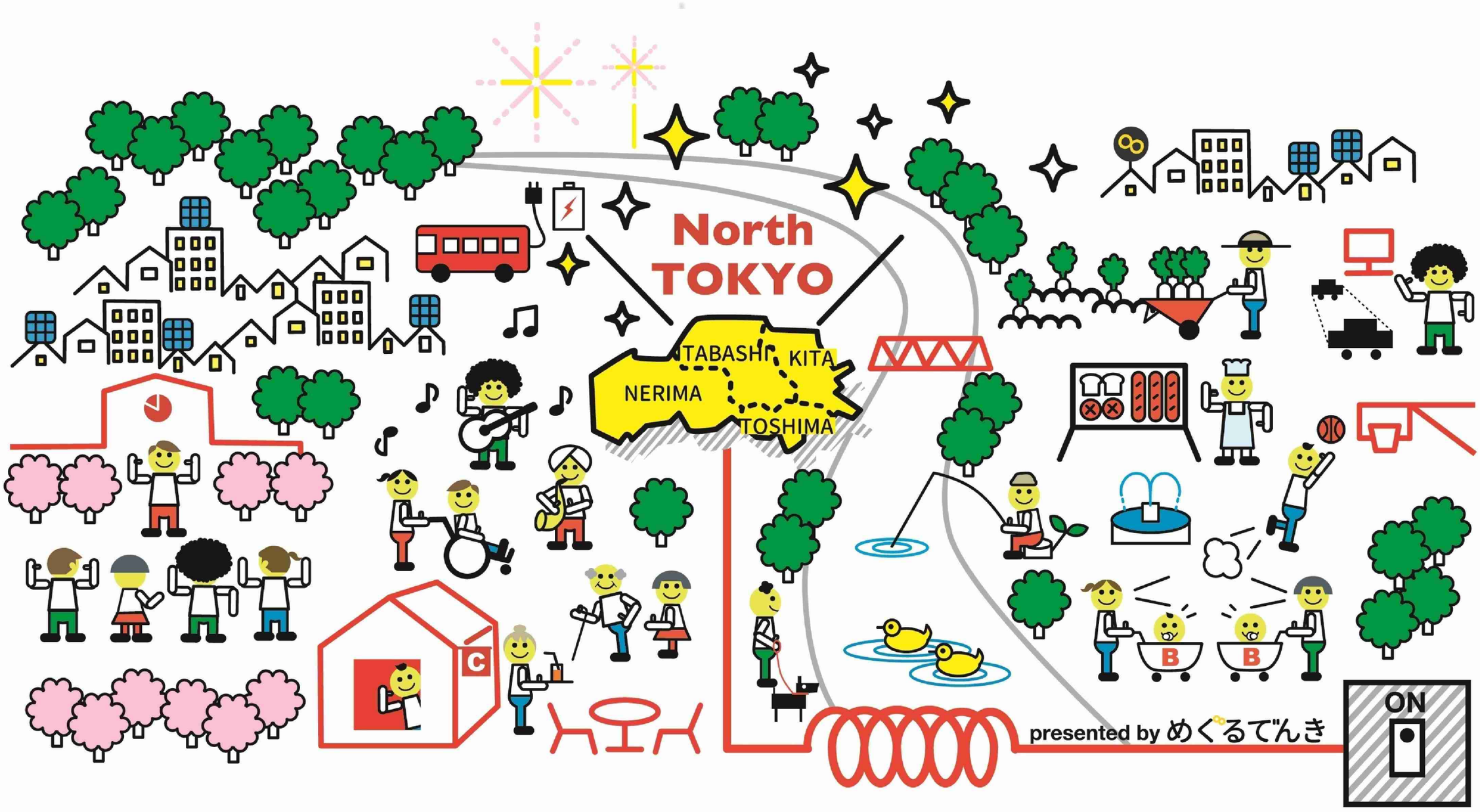
電気をスイッチして、あなたのおもいにスイッチ ON！

めぐるスイッチ
MEGURU switch



新着活動報告

new activity report



2021.11.09

＼リーフレット完成！／
「野菜まるごと使い切りレシピPart2」

オッケー

関連プロジェクト

板橋ママREBORNプロジェクト～ママと社をつなぐ～



2021.10.28 マム・スマイル代表、坂東愛子さんが【stand.fm】(スタンド.エフエム)配信をスタート

オッケー

関連プロジェクト

板橋ママREBORNプロジェクト～ママと社をつなぐ～



2021.10.28

【開催報告】10/16(土)
育休中＆いつか働きたいママのためのお茶会

オッケー

関連プロジェクト

板橋ママREBORNプロジェクト～ママと社をつなぐ～

ニュース

news and topics

2020.11.07 お知らせ Local Republic Award 2020 で「生活と経済の融合」の取り組みが、満場一致で最優秀賞を受賞いたしました

2020.12.29 お知らせ 年末年始休暇について

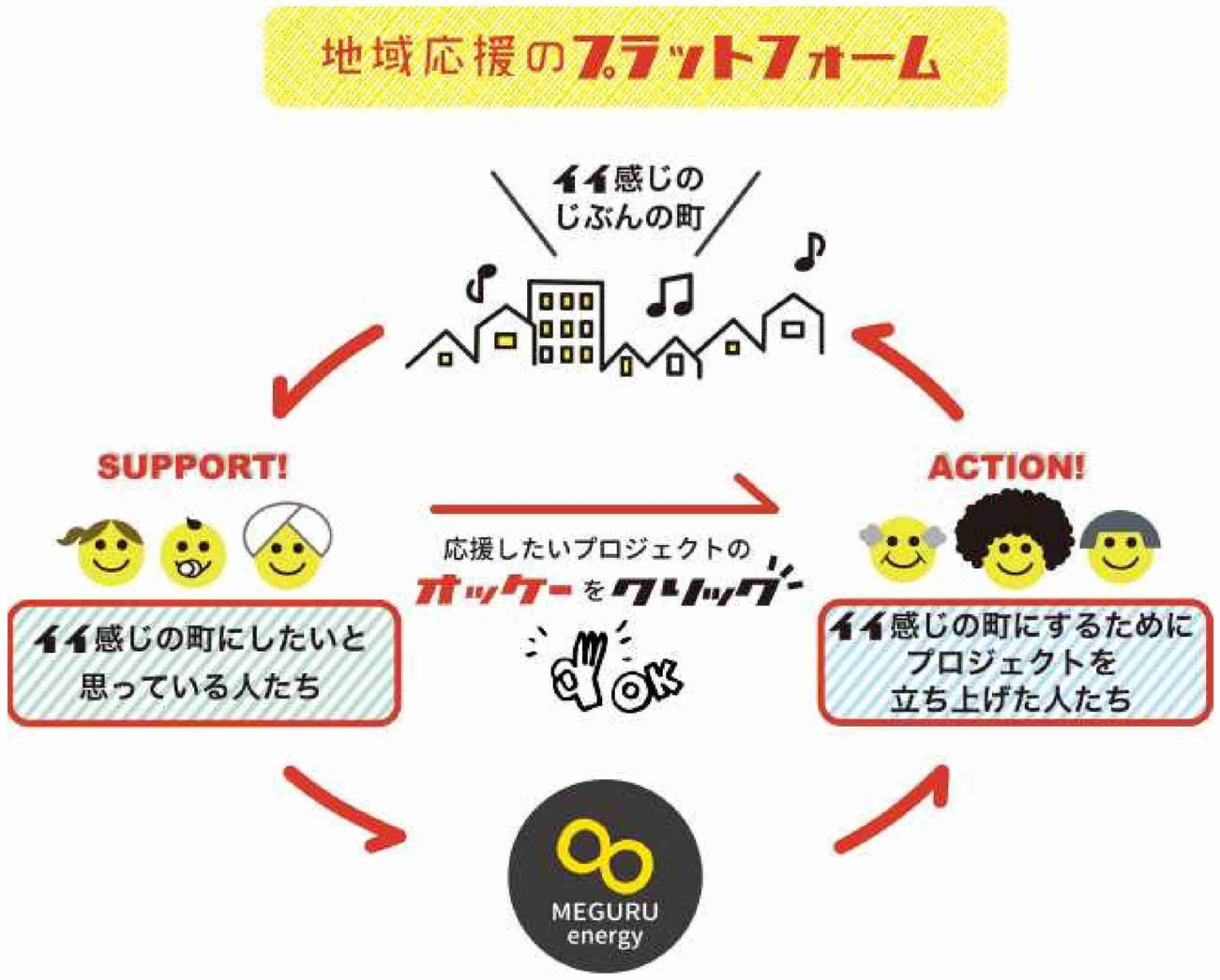
2020.12.22 お知らせ `2020年分めぐるスイッチ還元金を通知いたしました。

もっとみる →

めぐるスイッチって？

what is meguru-switch?

「めぐるスイッチ」は、地域活性化する人と応援する人が共創する地域応援プラットフォームです。
電気契約をめぐるでんきに変更いただくことで電気代の一部が地域活性化プロジェクトの応援原資に回ります。



応援の方法

how to cheer



電力契約を
めぐるでんきに
変更すると…



地域課題に取り組む
プロジェクトを
選べます



電気代の一部が
プロジェクトに
回ります

※なお、電気契約を変更しなくても、プロジェクトのページで「オッケー」ボタンを押すことでプロジェクトをどなたでも応援できます。

読んですっきり!
よくあるご質問

Copyright 株式会社向こう三軒両隣 all rights reserved.

電気をスイッチして、あなたのおもいにスイッチ ON！

めぐるスイッチ MEGURU switch

初めての方へ

Guide

めぐるスイッチへようこそ！

「めぐるスイッチ」は、地域活性化のために活動する人とそれを応援する人が共創する地域応援プラットフォームです。
自分の住むまちを良くしていきたい、そう想い活動するたくさんの地域の人たち。こうした活動が未来に続き繋がっていくことで地域はもっともっと活性化していく！そう私たちは信じています。こうした地域にとって、とても大切な活動が将来にわたって「持続可能」となるためにも経済的な自立はとても大切なバロメーターのひとつ。補助金や寄付金、それはとてもありがたいサポートですが、永遠に続くサポートではありません。それが途絶えてしまうことで活動そのものも終わってしまっては意味がありません。
そこで私たちは電気代に着目しました。電気は誰もが毎日使うもの、毎月どこかの電力会社に電気代という名のお金を支払っています。この毎月の電気代の一部がこうした地域活性化につながる活動やプロジェクトに継続的に還元されることで持続可能な地域活動となり、そして持続可能で活性化された地域になっていく、住んでいる人たちがみんな幸せを感じることができる地域社会。そうした地域を私たちは創っていきたいと考え、めぐるスイッチを始めました。みなさん、一緒に地域プロジェクトを応援し、一緒に盛り上げていきましょう。

めぐるでんき一同

オッケーとは

応援したいプロジェクトをプロジェクト詳細ページ内で1日１回オッケーをクリックして、プロジェクトへ応援ができます。電気契約をされてない方でも地域の課題を解決するプロジェクトの応援が可能です！

支援するとは

「めぐるスイッチ」は、地域活性化する人と応援する人が共創する地域応援プラットフォームです。
電気契約をめぐるでんきに変更いただくことで電気代の一部が地域活性化プロジェクトの応援原資に回ります。プロジェクト詳細ページにて支援するボタンを押して頂くと、電力契約・切替画面に行き、まず電力の切替登録を行っていただけます。
切替が終わりますと、めぐるスイッチにて会員登録と支援したいプロジェクトを選択が可能です。登録が出来ますとポイントが給付され、自動的に電気代の一部が寄付される仕組みとなっております。

電気をスイッチして、あなたのおもいにスイッチ ON！

めぐるスイッチ MEGURU switch

プロジェクト

Project

すべて　子ども・子育て　マイノリティの支援　まちづくり・地域活性化

『すべて』のプロジェクト一覧



みんなのえんがわ池袋

豊島区池袋の空き店舗を活用した、商店街活性化、地域の皆様の居場所づくり、地域活動支援の拠点スペースとして提供しています。



板橋宿の物語を未来に繋ぐ「大正6年築造”板五米店”」リノベーションプロジェクト

大正から100年間。この建物には様々な街の記憶があります。
再び人が行き交う風景をこれからも未来につなぎたい。
沢山の人の想いが集ま…



「狐（北区の歴史と文化のシンボル）」をテーマにした、多様性を受け止め合えるまちづくり

「王子狐のミュージカルの会」の母体となる「狐のにぎわい」を発足した頃（２００５年）、社会の閉塞感が高まり、人間関係の希薄と個人主義の…



板橋ママREBORNプロジェクト～ママと社会をつなぐ～

社会から離れた孤独感や不安感がつのり、
初めての育児で自信が持てなかったとき、
児童館で自分と同じ悩みを持つママが
多いことに気付きました



アトリエえんじゅく

障害のある方たちの表現活動の場として、アトリエえんじゅくを始めました。
障害のある方たちは、日ごろ思いのままに表現することに制限



ものづくり交流場「ひらめきドア」

近年とても発達してきたデジタルファブリケーション機器は、大量生産品では成立しない、地域や個人の小さな「あったらいいな」に応えるものづ…

株式会社向こう三軒両隣
〒173-0004 東京都板橋区板橋3丁目12-1
TEL： 03-6905-7735

Copyright 株式会社向こう三軒両隣 all rights reserved.

よくあるご質問

Faq

? めぐるスイッチとクラウドファンディングとの違いは何ですか？

クラウドファンディングはまとまったお金を一気に集めたい場合に使われます。めぐるスイッチはプロジェクトに共感した人が自分の電気代から継続的に応援する仕組みです。電気契約が継続している限り、応援金が回る息の長い仕組みです。

? プロジェクトを応援するにはどうすればいいですか？

（1）は契約変更後に応援したいプロジェクトを選んでいただくことで月々の電気代から100円が応援資金に回ります。（2）は応援したいプロジェクトのページで「おっけー」ボタンを押すことで、集まった「おっけー」の総数に応じて応援資金からいくらかの金額が寄付に回ります。（※金額は（1）のほうが多くなります）

? プロジェクトとはなんですか？

地域課題解決や地域活性化を目的に行われる活動です。

城北地域（板橋区、豊島区、北区、練馬区）の団体によって、地域課題解決や地域活性化を目的に行われる活動です。年2回（4月、9月）に新たな活動が追加されます。プロジェクトの実施期間は原則1年です。（更新可能）

? 応援すると何かメリットがありますか？

あくまでプロジェクト実施者の判断になります。

クラウドファンディングのように応援者向けのリターンが用意されているわけではありませんが、プロジェクト実施者にとって地域の応援者はたいせつな存在ですので、活動をする中で、応援者向けの独自のサービスなどをの特典を用意することは考えられます。あくまでプロジェクト実施者の判断になります。

? 応援するのに追加の費用が掛かるのですか？

特にかかりません。

あくまでお支払いいただく電気代の中からめぐるでんきが応援資金にプールします。

? 寄付額はどのようにして決まるのですか？

ご契約者様の月々の電気代に応じて決まります。

個人のご契約者様からは月々の電気代から100円、法人のご契約者様からは月々の電気代の0.5%相当が応援資金の原資になります。この応援資金からめぐるスイッチ運営の事務経費を除いた金額を、電気代で応援する場合と、おっけーで応援する場合に一定の割合で予算を振り分け、それぞれ集まった数に応じてプロジェクトに按分します。

? 家族で複数の人でプロジェクトを応援することは可能ですか？

はい、可能です。

ただし、電気代で応援をする人は電気の契約者1名になります。

? 法人でも応援は可能ですか？

法人低圧の電気供給開始は2019年秋を予定しています。

法人高圧は個別に担当とお話をさせていただきます。なお、高圧法人様は支払総額の0.5%程度を基金にプールしますが、うち1/2はお選びいただいたプロジェクトの応援に回し、残りの1/2はプロジェクト全体に按分されます。

? 応援するプロジェクトを変更することはできますか？

はい、可能です。

プロジェクトの開始は4月と9月です。選択いただいたプロジェクトの区切りのタイミングで更新のご案内が事務局からいきます。
プロジェクトは1年ごとにエントリーするかしないか決まりますので、応援したいプロジェクトが更新される場合とそうでない場合があります。

? 自分がプロジェクトを実施することも可能ですか？

はい、可能です。

毎年2回プロジェクト募集をしますので、所定のフォームに従ってエントリーしてください。

? 引っ越しをしたらプロジェクトの応援はどのようになるのですか？

めぐるでんきの電気供給管内で電気の契約が継続する場合は、応援プロジェクトは引き継がれます。

? 電気をめぐるでんきから解約した場合は、めぐるスイッチの応援はどうなるのですか？

契約月までの金額が寄付に回ります。

その後は電気代での応援は停止されます。引き続き「おっけー」での応援は可能です。

Copyright 株式会社向こう三軒両隣 all rights reserved.

アトリエえんじゅく

Project

マイノリティの支援

134 8



障害のある方たちの表現活動の場として、アトリエえんじゅくを始めました。
障害のある方たちは、日ごろ思いのままに表現をすることに制限がかかることがよくあります。せめて、表現活動の中だけでも、自分の想いのままを表現できることを意図した場を作っています。ここには、障害のある方だけではなく、自分が想いのままを表現したい子どもから大人までが集まり、活動をしています。
※えんじゅくギャラリーから、プロジェクトの内容をアトリエえんじゅくに変更しました。

あなたのアクションは？

支援する！

支援するとは？

プロジェクト概要

プロジェクトの概要

障害のあるなしに関わらず、子どもから大人までが集まり、それぞれが好きな表現活動を行います。
そこに、専門のスタッフがつきます。基本的には好きな表現のフォローをするだけで、指導ということはあまり行いません。その方の可能性を引き出すために、様々な提案をします。

プロジェクト内容

・日時　月2日間　10時～12時　13時30分～15時30分　の2時間ずつ
・対象　子どもから大人まで
※会費を払って参加してもらっています。（様々な事情で会費を払えない方への支援を必要としています）
・展示会　作品の成果発表会を年に1回行います。

プロジェクトの効果

アトリエ活動に参加する方の中には、表現活動にとどまらず、作家として仕事になっていく画力のある方もいます。そういう方は個人では仕事につなげられない場合が多いので、私たちがプロデュースをしていく予定でいます。そうなると、福祉的就労と言われる作業所からもらい工賃だけではなく、もう少し豊かに暮らす収益がもらえることで、その方たちのできることの幅が変わってきます。

実現したい地域像

何かの制限のある中で我慢して生きていくのではなく、お互いの足りないところを補い合って、豊かに暮らせる地域ができることを望みます。

プロジェクトスケジュール2020年度

7月18日（土）・19日（日）
8月29日（土）・30日（日）
9月12日（土）・13日（日）
10月17日（土）・18日（日）
11月14日（土）・ 15日（日）
12月26日（土）・27日（日）
1月16日（土）・17日（日）
2月20日（土）・21日（日）
3月20日（土）・21日（日）
※午前の部 pm10:00 ～pm12:00 ／午後の部 pm13:30 ～pm15:30

団体概要

おおきな木　加藤　未礼

板橋で障害者福祉施設のコンサルティング事業を10年前に立ち上げ、現在板橋だけではなく、神奈川、千葉、群馬など関東近辺の福祉施設の課題解決に関わる個人事業を営む。コンサルティングの内容は、障害のある人の特性などを活かした商品づくり、カフェなどの立ち上げ、運営、アート作品のプロデュースなどに関わる。

〇TREE2 林よしえ

デザイン事務所、設計事務所勤務を経てフリーランスで紙媒体のデザイナー、シルクスクリーン作家として活動。手仕事とプロダクトの狭間を意識した作品創りと対話のきっかけになるようなデザイン作りを心がけている。おもに福祉施設での創作活動・商品デザイン企画、中小企業・神社などに、地域コミュニティーにかかわるコンセプトデザインを提供している。

あなたのアクションは？

支援する！

支援するとは？

活動報告



2021.1.7　5



2020.11.20　11



2020.10.23　8

アトリエえんじゅく　vol.7　2020年12月26・27日



2020.10.23　10

アトリエえんじゅくvol.5　2020年11月14・15日



2020.9.18　10

アトリエえんじゅくvol.4 2020年10月17日・18日（訂正：vol.4に）



2020.9.9　18

アトリエえんじゅくvol.3 2020年10月17日・18日



2020.9.9　16

アトリエえんじゅく vo.3 2020年9月12・13日



2019.9.20　23

アトリエえんじゅくvo.2 2020年8月29・30日



2019.8.26　26

アトリエえんじゅくvo.1 2020年6月27・28日



2019.8.20　25

えんじゅくギャラリーアーカイブvol.19【佐々木卓也 個展「まなざしのカタチ」】



2019.8.19　24

えんじゅくギャラリーアーカイブvol.18【unico 2人展】



2019.8.18　24

えんじゅくギャラリーアーカイブvol.17【えんじゅく市関連企画展】



えんじゅくギャラリーアーカイブvol.16【猫沢八郎展】



えんじゅくギャラリーアーカイブvol.15【わたしとあなたの美術展】



板橋ママREBORNプロジェクト～ママと社会をつなぐ～

Project

プロジェクト概要　活動報告　支援する

子ども・子育て

144　2



社会から離れた孤独感や不安感がつのり、初めての育児で自信が持てなかったとき、児童館で自分と同じ悩みを持つママが多いことに気付きました。
再び働きたい思いがあっても、一歩を踏み出せない、育児疲れで消極的など、様々な問題を目の当たりにして、家族やママ友ではない社会と繋がる第三の場の必要性を強く実感し、「ママたちを元気にして社会につなげ、地域を活性化させるための場所を作りたい」という思いでマムスマイルを設立。ママたちの社会復帰支援を進めることとなりました。

あなたのアクションは？

支援する！

支援するとは？

プロジェクト概要

プロジェクトの概要

社会から離れた孤独感や不安感がつのり、初めての育児で自信が持てなかったとき、児童館で自分と同じ悩みを持つママが多いことに気付きました。
再び働きたい思いがあっても、一歩を踏み出せない、育児疲れで消極的など、様々な問題を目の当たりにして、家族やママ友ではない社会と繋がる第三の場の必要性を強く実感し、「ママたちを元気にして社会につなげ、地域を活性化させるための場所を作りたい」という思いでマムスマイルを設立。ママたちの社会復帰支援を進めることとなりました。

プロジェクトの内容

ママが集うお茶会の開催
…ママの出会いの場＋自己啓発ワークなどでママのメンタル向上を促します。

ママのための講座・レッスン
いずれ社会復帰したいママ向けの講座を開催しています。働く意欲や自信を取り戻し、実践的なスキルを身につけて頂くことができます。その他、有益情報として板橋区内の各種教室・レッスンもイタバシーナWEB内で紹介しています。

マナビ～ナ

「学ぶって楽しい♪を親から子へ」をテーマに、さまざまな体験・体感・知識を通じて子どもを育む“引き出し”を増やせる場、学ぶ楽しさを親から子どもへ伝えられる経験が得られる場として、イベントなどを企画実施しています。

地域情報誌イタバシーナ

…春夏秋冬 年4回発行、板橋区内10,000部配布。企画から校正、デザイン、ライティング、入稿、配布に至る全ての工程を板橋のママたちで行なうプロジェクト。配布箇所は児童館、図書館、健康福祉センター、保育園、幼稚園、産婦人科、小児科、親子連れがよく行く民間施設、店舗等に配布しています。

イタバシーナWEB

…板橋のママライターを育成し、ママ向けのお出かけ情報やお役立ち情報、板橋区保育園・幼稚園レポートなどを発信しています。

プロジェクトの効果

・「〇〇ちゃんママ」ではなく、ママ自身の名前で呼び合える横の繋がりにより孤独感が解消し、自己肯定も回復していきます。また、いろんな年代のママたちとの繋がりで育児の悩みから抜け出すことができます。
・同じライフステージのママたちが活躍する姿を見ることで少しでも前向きになり、一歩を踏み出す機会が生まれ、社会復帰への後押しとなります。
・板橋のママが地域での活動に積極的になるなど、地域活性化にも貢献します。

実現したい地域像

板橋のママたちが、自分のことも大切にしながら活躍し、楽しく子育てもできる地域

プロジェクトスケジュール

4月ママのための動画配信
5月ママのための動画配信
6月ママが集うお茶会（オンライン）
7月ママが集うお茶会（オンライン）
　イタバシーナ2020春夏号刊行
9月ママが集うお茶会
10月イタバシーナ2020秋号キックオフミーティング
11月ママが集うお茶会
12月ママが集うお茶会
　　イタバシーナ2020秋号打ち上げミーティング
１月イタバシーナ2021冬号キックオフミーティング
3月イタバシーナ2021冬号打ち上げミーティング

団体概要

板橋区ママコミュニティ「マムスマイル」

マムスマイルは、「ママが幸せで笑顔になることで、子供そして家族も幸せで笑顔になる」を合言葉に、「ママたちの出会いの場」「ママたちの知識・スキル・メンタル向上の場」「ママたちの活躍支援の場」「ママたちの地域との繋がりの場」を作る活動を行う板橋ママによる板橋ママのための地域団体です。

設立・2016年2月
代表・坂東愛子
イタバシーナそだて隊 20名
無料会員数 996名（2020年6月1日現在）
HP https://itabashi-na.com

あなたのアクションは？

支援する！

支援するとは？

活動報告



2021.11.09

＼リーフレット完成！／
「野菜まるごと使い切りレシピPart2」

オッケー



2021.10.28　マム・スマイル代表、
坂東愛子さんが【stand.fm】(スタンド.
エフエム)配信をスタート

オッケー



2021.10.28

【開催報告】10/16(土)
育休中＆いつか働きたいママのためのお茶会

オッケー



2021.10.28

【開催報告】10/11(月)
イタバシーナそだて隊ミーティング開催

オッケー



2021.10.14

イタバシーナvol.16(2021夏秋特別号)発行
いたしました！

オッケー



10/11(月)10:30～
イタバシーナそだて隊2021夏秋特別号
ミーティング開催します！

オッケー



2021.9.24

板橋ママが保育園フォレスタ・志村三丁目を取材
してきました！

オッケー



2021.9.13

マム・スマイル初の朝活お茶会
「忙しいママのためのカラダメンテナンス
～即効くびれ編～」

オッケー



2013.9.13

板橋ママの保活・園活を応援！
【板橋ママの保育園・幼稚園ナビ】始まります！

オッケー



2021.9.1

今年もやります！「野菜まるごと使い切り
レシピPart２」

オッケー



2021.7.20

7/11(日)板橋区立文化会館主催
いたばしキラキラ夏祭り

オッケー



2021.6.28

いよいよ本格始動！第5期イタバシーナそだて
隊キックオフミーティング開催しました！

オッケー

ものづくり交流場「ひらめきドア」

Project

プロジェクト概要 | 活動報告 | 支援する

まちづくり・地域活性化

836 2



近年とても発達してきたデジタルファブリケーション機器は、大量生産品では成立しない、地域や個人の小さな「あったらいいな」に応えるものづくりを可能にします。
そこで、こうした機器を地域の人が気軽に利用できる場を板橋区内にほしいなと考えました。

あなたのアクションは？

支援する！

支援するとは？

プロジェクト概要

プロジェクトの概要

プロジェクトでは、デジタルファブリケーション機器を使って楽しむことを広めながら、長期的な目標として機器を備えた交流場の設立をめざします。
ただし、私たちにとってデジタルファブリケーション機器は場の主役ではなく、あくまでコミュニティを豊かにする強力なツールです。
皆がいて楽しいから集まる、ついでにもの作りもできる、そんな地域の交流空間をめざしています。

プロジェクト内容

（1）中長期のスパンでは「ひらめきドア」という交流場の設立について検討を進めます。
（2）場所は「箱」に過ぎず、場を機能させるにはコミュニティを育てることが重要です。「ものづくりを通じた人の交流」を活性化するため、ものづくりに関わるイベントやワークショップなどを開催します。
（3）ひらめきドアの考えに賛同いただけるお店や工房などで、デジタルファブリケーション機器を活用した場づくりを行い、小規模かつ分散的に区内でものづくりによる交流の機会を増やしています。
（4）現在のプロジェクトメンバーはデジタルファブリケーション機器に精通しているわけではないため、これを大いに遊んで制作技術を高めていきます。

プロジェクトの効果

これまでは、地域の他団体に仕掛け募金箱やイベント用のメダルを製作してプレゼントしたり、地域の話題をモチーフにしたボードゲームでイベントを開いたり、プログラミングや３Dプリンターに関する無料講座を提供したりしてきました。
長期的にはこうした活動によって、ものづくりによる交流や助け合いが当たり前な地域社会に発展することを目指します。

実現したい地域像

デジタルファブリケーション機器を備え、地域の人が気軽に利用できる場所をつくりたいと思います。また「手作りプレゼントを贈ろう」という企画などを中心に、地域の幅広い世代の人が、互いの望みや悩みを知ろうとし、ものづくりを通じて助け合える機会を増やせるといいなと考えています。

プロジェクトスケジュール

現時点の活動予定は次の通りです。
2019年-2020年6月 ワークショップやメンバーの技術トレーニングを実施。
2020年6月から　多様な活動がメンバーの過負担にならないよう、現状の活動の仕組みを見直し。
2021年から　複数の分散した「ものづくり交流場」をネットワーク展開できるよう検討していく。

団体概要

私たちの活動母体は、特定の法人や団体ではなく、有志のメンバーで集まって、それぞれの役割を考えて行動するプロジェクト形式です。

あなたのアクションは？

支援する！

支援するとは？

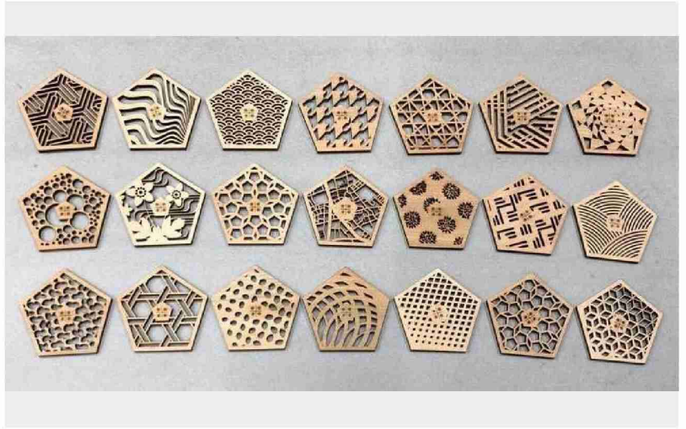
活動報告



2021.4.23　4

育児啓発ゲームのデザインを変えました

オッケー



2021.4.19　8

板五コースター制作しています

オッケー



2021.4.10　5

おとなり大学のウェブサイトを作りました

オッケー



2021.4.7　7



2021.3.27　8



2021.3.18　9

新しいレーザーカッターでものづくり（いろいろテスト）

オッケー

新しいレーザーカッターが到着！

オッケー

制作中ボードゲームのキービジュアル作り

オッケー



2021.3.11 18

育児啓発の新ボードゲームの制作開始

オッケー



2021.3.4 23

地域ボードゲーム会のサイトをつくりました

オッケー



2021.3.1 20

MDF合板のおもちゃ製作

オッケー



2021.2.18 20

立体地図パワーアップ中

オッケー



2021.1.23 30

みんなでボードゲームを考える

オッケー



2020.10.19 43

「SDGsゲームの板橋版を作る会」に参加したメモ

オッケー



2020.10.14 37

最近の活動、まとめてレポート

オッケー



2020.9.1 22

ステンシル作りイベントの準備OK　【お詫びと訂正】、記事の正しいリンク先を表記

オッケー



2020.9.1 41

ステンシル作りイベントの準備OK

オッケー







「狐（北区の歴史と文化のシンボル）」をテーマにした、多様性を受け止め合えるまちづくり

Project

プロジェクト概要　活動報告　支援する

まちづくり・地域活性化

183　6



「王子狐のミュージカルの会」の母体となる「狐のにぎわい」を発足した頃（２００５年）、社会の閉塞感が高まり、人間関係の希薄と個人主義の行き過ぎから（自分自身も含め）ストレスを抱える人々の姿に触れて、地域に、心の拠り所となるゆるいつながりが必要ではないかと考えました。

あなたのアクションは？

支援する！

支援するとは？

プロジェクト概要

プロジェクトの概要

男女・年齢・障がいの有無・考え方や生い立ち・出身地などの異質性・多様性を受け入れるシンボルとして、「狐」をテーマにしたオリジナルミュージカルの創作と上演活動を行い、そのプロセスで、子どもたちと共にまちを知り、学び、感じ直して自発的に動くプロジェクトです。

プロジェクト内容

前述の「狐のにぎわい」が発起人となって１年かけて行ったワークショップは、「まち歩き」「地元の文化発掘」「写真教室」「落語『王子の狐』を聴く会」など多岐にわたりました。
そのあと募集した実行委員会は４０人規模。参加者募集に集まった３歳～８０歳代の方々は１３０名を超えました。
こうして初演を果たした２００８年から、２年に１回、オリジナルミュージカル「王子の狐　ねがいの石」の公演を行ってきました。

５度を数えるまでに、助成金の打ち切りや少子化の進行、大災害や景気の低迷など、試練の数々が私たちにも影響を及ぼし、続けられるか…を話し合いながら歩んで来ました。２０１８年に、１０周年を記念してオリジナル曲全曲の公開録音をＣＤ化し、新しい旅立ちのための模索を続けています。

今年度から年会費での運営をスタートし、月１回の合唱稽古と地域のお祭りなどに出演する計画で、新しい仲間を募集しながら楽しく集っています。

プロジェクトの効果

子どもから高齢者まで、関るすべての人たちに、「ふるさと（生まれた場所というだけでなく、そこで輝く・そこで出会う・そこで人を愛する場）」を発見し、実感してもらい、異質性・多様性を面白がり楽しみながらつながり、助け合い支え合う地域を共に創っていける関係性を、最大の価値として提供します。

実現したい地域像

一人で悩んだり苦しんだりしている人を無視しない、見殺しにしない、見放さない、自由だけど、孤独もいいけど、独りぼっちではないと感じられる、あったかくて面白くて、縛りの少ない、無事を喜び合える地域。
季節の彩の中で、自然に年を重ね、異年齢・異世代がゆるく交流しながら気遣い合える地域。

プロジェクトスケジュール

２０１９年３月～新計画スタート
　４月、５月；合唱稽古
　６月８日（土）；「おちゃのこ祭祭（北区社会福祉協議会主催）」ステージと体験展示部門に参画。
プチミュージカルの発表と和室ブースで物販と狐メイク、一緒に歌おうコーナーなどを出展。
　９月１日（日）；「王子狐の夕すず美」でパレードと水辺のステージ出演。
　１１月１０日（日）；「北区合唱祭」に出場。
　１２月３１日（火）；「王子狐の行列」に参画

団体概要

団体連絡先等：
〒１１５－００４３
北区神谷１－２５－２　（株）橋本新企画　気付
担当者氏名：　橋本　哲男
電話：０３（４２９１）７７２５
携帯電話：０８０-４０７５-２８８４
FAX：　０３（４２９１）７７２５
Eメール：t2oji@yahoo.co.jp
ホームページ：　fb　「王子狐のミュージカルの会」

設立年月日：
２００９年４月１日
構成員数　31人

団体の目的（ミッション）：
北区の歴史と文化の象徴である「狐」をテーマにしたオリジナルミュージカルを創作し上演することで、まちの異年齢・異文化・異ジャンルの人をつなぎ、ふるさとを愛する心を育み、地域文化と歴史の掘り起こしと共有・継承発展を目指す。又、このまちで育つ子どもたちの豊かな心身の育ちをはぐくむ土壌づくりに貢献すると共に、まちの伝統文化・伝統工芸・名産品等の資源をつなぎ、活かすことを願って活動している。

団体の活動実績：
２００５年、ミュージカルづくりの母体となる「狐のにぎわい」を発足。実行委員会を組織して２００８年を皮切りに２０１０、２０１２，２０１４、２０１６と５回にわたり、北とぴあ さくらホールでのミュージカル「王子の狐　ねがいの石」上演を果たす。
２年に１度の上演に加え、３月；さくらSAKASOまつり、６月；おちゃのこ祭祭、９月；王子狐の夕すず美、１０月；北区合唱祭、１２月；王子狐の行列等、地域行事に参画・参加してきた。
この間、地域の狐関連文化芸能団体等との連携・交流を図り、実行委員会を組織するなどして、主に「王子狐の夕すず美」等で舞台やイベントを共有して来た。

あなたのアクションは？

支援する！

支援するとは？

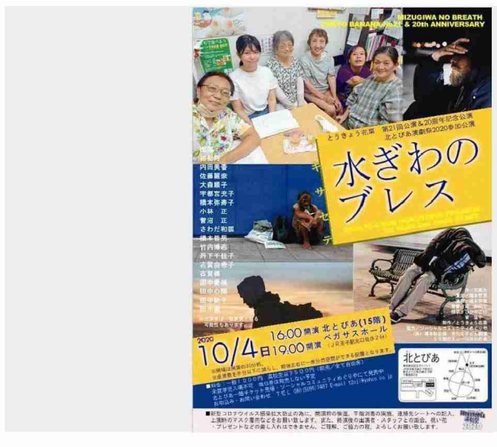
活動報告



2020.11.6 22

『とうきょう花菜」さんとコラボ

オッケー



2020.11.6 25

北区演劇祭参加作品『水ぎわのブレス』

オッケー



2020.2.12 58

北区合唱連盟の新年会

オッケー



2020.1.5 66

王子狐行列を行いました（２）。

オッケー



2020.1.5 65

昨年末、王子狐行列を行いました。

オッケー

Copyright 株式会社向こう三軒両隣 all rights reserved.

みんなのえんがわ池袋

Project

まちづくり・地域活性化

235 0



豊島区池袋の空き店舗を活用した、商店街活性化、地域の皆様の居場所づくり、地域活動支援の拠点スペースとして提供しています。

あなたのアクションは？

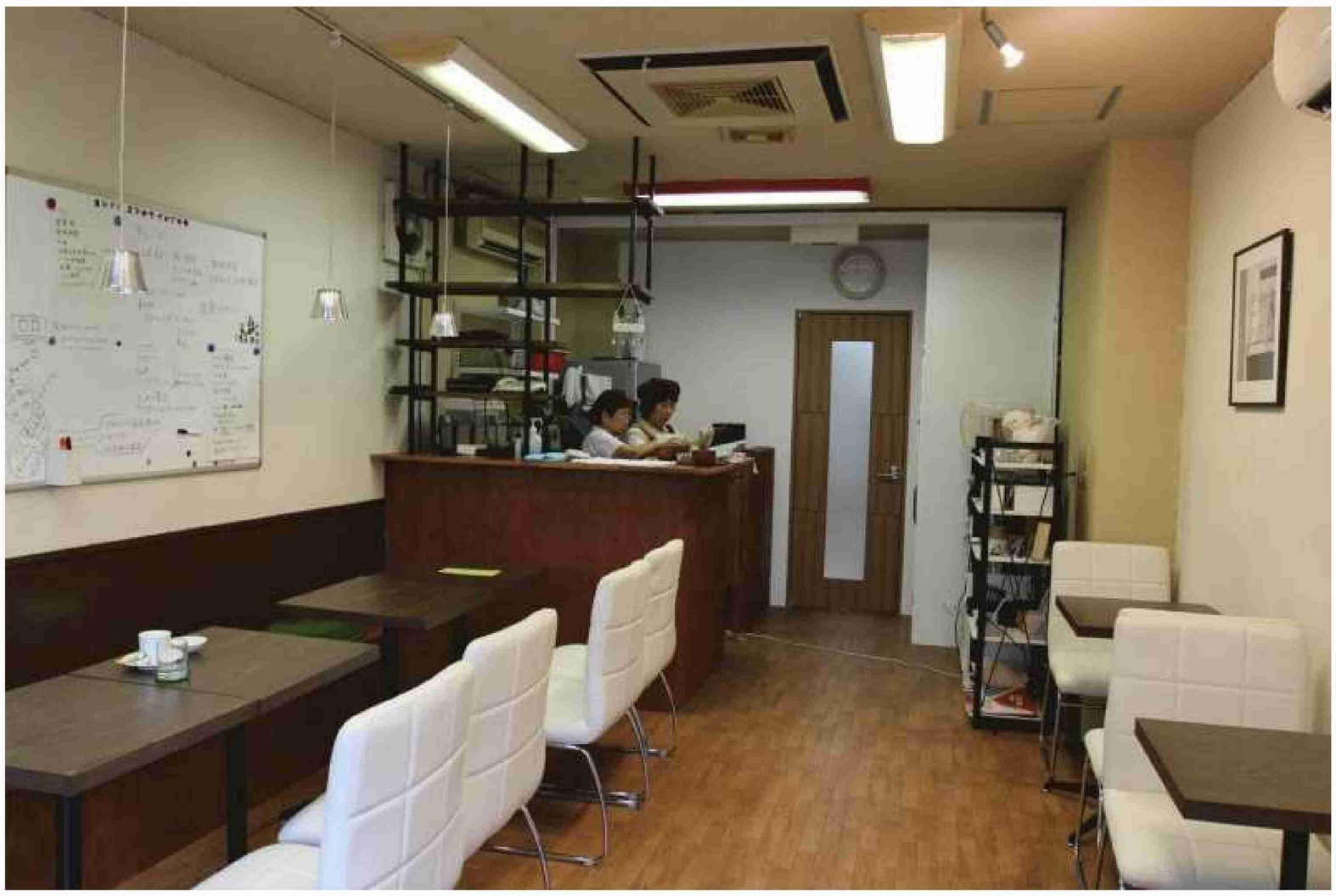
支援する！

支援するとは？

プロジェクト概要

実施したいプロジェクトの概要

• シャッター通りとなった商店街の中に、地域コミュニティを維持し、地域住民の交流の場として平成19年にオープン。単身高齢者などの見守り、情報交流、居場所として運営している。
• オープン以来、毎月第２日曜日に、リサイクルフリーマーケット「えんがわ市」を開催し、地域住民、地域活動団体の交流の場や、施設のPRを行なってきた。
• 平成28年より、中池袋公園でフリーマーケット＆エンターテイメントイベント「東の楽座」を開催。東池袋の「アニメ＆コスプレ」の聖地という立地特性に合わせて、アニメ・キャラクター系のフリーマーケット出展者を誘致するとともに、コスプレイヤー、アニメ系ミュージシャンなどのパフォーマンスの場を提供。
• 平成23年の東日本大震災の際に、復興支援の拠点として、支援物資の受け取り窓口として活用して以来、岩手県、宮城県を中心とした復興支援団体と協働で、えんがわ市を中心に復興支援活動を継続的に実施。
• 毎週木曜日、地元学習塾との協働で子供向け英会話教室を開催するほか、社会福祉協議会による相談会、飲食店での独立を目指す方を対象としたレンタルキッチンとしての貸し出しなども行なっている。
• みんなのえんがわ池袋に、動画配信設備を導入し、地域活動団体、地元ミュージシャン・アーティストなどにリーズナブルな料金で使用していただく。また、動画作成セミナー、動画制作事業などを展開し、地元NPO法人、地域活動団体、アーティストなどの情報発信力強化をサポートする。



本プロジェクトの理由や背景

みんなのえんがわ池袋の位置する通りは、シャッター通りとなり、車、自転車などの交通手段を使えない高齢者、障害者などにとって、まちの利便性が低下しているとともに、外国人などの住民が近年大幅に増加していることなどもあり、地域コミュニティが大きく低下していた。
地域の中で、居場所や見守りが必要な方達と、そのような方たちを支えるNPO法人をはじめとする地域活動団体を日常的に結びつける場所として、傾聴のスキルを持ったボランティアがいる「地域サロン」の役割の必要性を痛感し、本プロジェクトをスタートさせた。
今日では、新型コロナウイルスの影響や、5G時代に突入すし、動画による情報発信がますます重要になってきた。そのため、実際のサロン機能と、動画を配信・制作するスタジオ機能を持たせることで、地域の皆様と、地域活動団体を複層的に結びつける場所となるよう、機能を強化させて行きたい。

誰に、どのような価値を提供しますか

• 地域住民…独居高齢者、障害者などを中心とした、見守り・情報が必要な人達が立ち寄れる、居場所、情報取集と、必要な支援を提供している団体などをマッチングできる場。
• 地域活動団体…地域で活動する団体が、セミナー、会議、相談会などを実施できる多目的スペース＋少しクオリティの高い動画配信、制作のためのスタジオ＆クリエイティブ機能。
• 地域住民の交流の場と、アニメ・コスプレ、地元ミュージシャンなどを中心としたアーティストのライブ活動＆配信の場の提供。
• 地域のリサイクル活動への貢献

実現したい地域はどんな地域

この地域で長く暮らしてきている人たちが、若者・外国人など、他の場所から転入してきた人たちと理解し合いながらともに暮らせる地域。
この地域は、木造密集地域であり、独居高齢者、単身の若者・外国人が非常に多い地域であるため、高齢者、障害者など、支援を必要とする人たちが暮らしやすい地域であるために、地域コミュニティをしっかりと形成していくことが大事な場所。若者、外国人も含めて、近隣の人たちの顔が見えるようにすることで、地域住民の「縁（えん）」が強まっていく地域を実現したい。

年間のスケジュール

- 毎月第二日曜日に、えんがわ市＆リサイクルフリーマーケットを池袋第二公園で開催。
- 不定期に音楽やダンスなどエンターテインメント性の高いイベント、東の楽座を中池袋公園で開催。
- 月曜日から土曜日まで、地域サロン「えんがわカフェ」を運営
- 事前予約により、講座、セミナー、イベント、アコースティックライブ、撮影や、それらの動画配信・制作のためのスタジオとして貸し出し。



具体的な活動内容

・えんがわカフェ：月～土 11:00～18:00まで、地域サロンを運営。近隣在住のボランティアスタッフが運営を担当している。70才以上の方に対してはプラチチケットを配布し、割引料金で利用できるようにしている。
・えんがわ市＆リサイクルフリーマーケット：毎月第２日曜日　10:30～14:00まで開催。えんがわカフェのボランティアスタッフを中心に、フリーマーケットと焼きそば、お赤飯などを販売している。
・スペースレンタル事業：英会話教室など、地元住民向けの教室、セミナー、講座などの場所として、1時間1,000円でレンタル。
・動画配信・制作事業（新規事業）：スペースレンタルに加えて、カメラ、照明、マイク、スイッチャー、動画配信用PCなどを貸し出し。（1時間1,000円程度を予定）
・現状、みんなのえんがわ池袋の運営については、補助金、助成金は受けておらず、ほとんどをボランティアスタッフにお願いしています。可能であれば、その人件費を捻出できるだけの事業性を確保したいと考えています。（月額10万円ほど）



実現したい地域像

みんなのえんがわ池袋がある池袋3丁目周辺は、空き家・空き店舗、単身高齢者世帯の増加、地域コミュニティの希薄化などの課題が顕在化しています。一方、地域を支えるNPO法人、地域活動団体は、日々変化する社会環境に対応しながら、効果的な活動を継続していく必要があります。みんなのえんがわ池袋は、その中間に位置し、双方を有機的に結びつけていく拠点としての役割を果たしていきたいと考えています。
えんがわには、近所の人たちが集まってきて、お茶を飲みながら、世間話し（情報交換）する機能がありました。そこから「えん」が生まれ、相互支援（えん）の地域社会が形成されていました。

みんなのえんがわ池袋は、そんな「えんがわ」のような場所でありたい、と願い名付けられました。
今は、通信技術が飛躍的に発達し、コミュニケーションの方法も大きく変化してきましたが、そんな時代の変化にも対応することで、なかなか変化についていけない方などを支援することに結びついてくと考えています。
近隣で暮らし、働き、学ぶ、多くの人たちの「えん」を結んで、みんなが共生できる地域社会づくりに貢献してまいります。

団体概要：みんなのえんがわ池袋

支援を必要とする人たちが暮らしやすい地域であるために、地域コミュニティをしっかりと形成していくことが大事な場所。若者、外国人も含めて、近隣の人たちの顔が分かる、地域住民の「縁（えん）」が強まっていく地域を実現したい。みんなのえんがわ池袋は、そんな「えんがわ」のような場所でありたい。

2005年11月設立
運営団体：特定非営利活動法人NPO推進協議会
住所：〒171-0014 東京都豊島区池袋3丁目30－21
代表・柳田　好史(ヤナギダ　ヨシフミ)
豊島区観光協会常任理事、商工会議所豊島支部評議委員、NPO自転車活用推進研究会副理事長、としまユネスコ協会事務局長等の社会貢献活動に奔走する現役サラリーマン
運営スタッフ：柴垣　敬子、幅上　敦



あなたのアクションは？

支援する！

支援するとは？

活動報告



2020.8.22　34

第14回社会貢献活動web見本市27団体参加で開催

オッケー



2020.8.1　51

としまNPO推進協議会では、新たにYouTubeに「えんチャンネル」を開設しました。

オッケー

板橋宿の物語を未来に繋ぐ「大正6年築造”板五米店”」リノベーションプロジェクト

Project

プロジェクト概要 活動報告 支援する

まちづくり・地域活性化

117 4



大正から100年間。この建物には様々な街の記憶があります。
再び人が行き交う風景をこれからも未来につなぎたい。
沢山の人の想いが集まりこの再生プロジェクトは動いていきました。
屋号はそのままに「板五米店～旅とお結び～」として。
日常に使えるカフェとして。この街の歴史に思い巡らせる旅。ローカルな街の人と交流できる旅。何気ない日常の会話が”まち”に溢れる風景がこの先もずっと続くように。
この板五米店に再び息を吹き込みます。

あなたのアクションは？ オッケー 支援する！

オッケーとは？ 支援するとは？

プロジェクト概要

あなたのアクションは？ 支援する！

支援するとは？

活動報告



